



News Letter

順天堂大学女性研究者支援室

編集・発行
順天堂大学女性研究者支援室
〒113-8421
東京都文京区本郷2-1-1
センチュリータワー南12階
☎03-5802-1009
Email:j-danijo@juntendo.ac.jp
女性研究者支援室ホームページ
http://www.juntendo.ac.jp/jyosei/index.html

活動報告：研究支援者の声～上半期を終えて～

平成24年度女性研究者事業も折り返し地点となりました。研究支援を活用されている腎臓内科・金子佳代先生と金子先生の支援者・相馬早苗さんに平成24年度上半期を振り返っていただき、ご意見ご感想をいただきました。



支援者・相馬早苗さん

主な支援内容は何か

腎臓内科の金子先生のお手伝いをさせて頂いております。先生の研究テーマであります「腹膜透析における腹膜劣化のメカニズムの解明と治療」における実験では、主に細胞を使つての腹膜モデルの構築に向けての検討や免疫染色、RT-PCRやReal Time PCR等のお手伝いをさせて頂いております。

平成24年度上半期4月～9月の支援を終えて感じたことを教えてください

かねてよりずっとお人柄に惹かれておりました金子先生のご支援をさせて頂けて、とてもありがたく幸せに思っております。私の愚考や考え等にもお耳を傾けて下さり、又、疑問点等にもしっかりとご答え下さり、先生とのキャッチボールがスムーズに出来てとても勉強にもなり感謝しております。

支援する側から見て、女性研究者支援事業の改善点、ご意見・ご希望などをお聞かせください

今まで、どれだけ才能も実力も情熱もある女性研究者の方が結婚や子育て、又は介護等で現場からの離脱を余儀なくされてきた事でしょう。この事はあまりにももったいない事であると同時に、社会における大きな損失でもあると思います。少しでも手助けしてくれる支援者がいれば、せっかく今まで培ってきた研究を中断したり諦めたりする事もなく継続・発展させる事が出来ますし、延いては世の為、人の為となり、社会にとってプラスに働くのに、と思います。この様な事業がもっと世の中に拡がると良いと思います。

支援を受けている腎臓内科・金子先生

平成24年度上半期4月～9月の支援を受けて感じたことを教えてください

この度は、女性研究者支援室より研究のご支援を賜り、思いもよらなかった基礎研究の再開を果たすことができました。久しぶりに研究に戻った嬉しさもつかの間、実験手技などを思い起こし、研究を離れていた間の進歩に追いつくのが精一杯で、家族とも折り合いをつけながらようやく少し慣れてきた状況です。この間、平澤先生（老研センター）をはじめ支援室の先生方、支援者の方々には、研究のみならずキャリア形成のアドバイスなど、いろいろな面でサポートして頂き、心より感謝しております。特に相馬さんには、本当にきめ細かく実験を支援して頂き、子供の急病など急なスケジュールの変更にも柔軟に対応していただいております。時間の制約がある中で、数日にわたる実験や長時間の実験はサポートがなければできなかったことです。まだまだ、試行錯誤の連続で思うような結果が得られていないのですが、これまでの経験を生かして少しずつでも積み上げていきたいと思っております。

支援を受けた側から見て、女性研究者支援事業の改善点、ご意見・ご希望などをお聞かせください

女性医師が就業を継続するためには、自ら働き続けることが当然という意識を持ち続け、努力することが大事ですが、出産・育児が大きなハードルであることは否めないと考えます。女性研究者支援事業を利用することにより、少しでもハードルを低くすることが出来れば、女性研究者が貢献できる場が増えると思えます。女子医学生や研修医のキャリア形成の参考にできるように、この事業の内容を幅広く情報提供して頂き、今後も女性研究者の育成のために、女性研究者支援事業を拡充し継続して頂きたいと思っております。

文部科学省科学技術人材育成費補助金女性研究者支援モデル育成事業

順天堂大学 平成24年度シンポジウム

女性外科系医師・研究者からのメッセージ～次世代女性研究医への期待～

平成24年12月22日(土) 14:00～17:00 10号館1階 カンファレンスルーム

■ 入場無料 一般・教職員・学生の方、男性の方大歓迎です

■ 託児ルームを設置いたします 当日10号館2階カンファレンスルームに託児所を設けます
託児所利用申込: j-danijo@juntendo.ac.jp

講師経歴



山村 康子 先生

独立行政法人科学技術振興機構科学技術振興調整費プログラム主管
(科学技術振興調整費プログラムオフィサー)



加藤 聖子 先生

1986年 九州大学医学部卒業
1993年 九州大学生体防御医学研究所助手
1998年 九州大学生体防御医学研究所講師
1999年 九州大学生体防御医学研究所講師
2006年 九州大学大学院医学系研究科講師
2009年 順天堂大学医学部准教授
2010年 順天堂大学大学院 医学研究科准教授
2010年 順天堂大学産婦人科准教授
2010年 順天堂大学医学(系)研究科(研病院)准教授
2012年 九州大学大学院医学研究科生殖発達生理学分野教授



加藤 庸子 先生

1978年 愛知医科大学医学部卒業
1980年 名古屋保健衛生大学脳神経外科教室研修医
1981年 中華人民共和国蘇州医学院付属第一病院脳神経外科留学
1982年 トヨタ病院脳神経外科部長
1984年 藤田学園保健衛生大学脳神経外科研究助手
1985年 脳神経外科認定医取得
1986年 オーストリア、ゲラーツ大学留学
1991年 藤田学園保健衛生大学医学部脳神経外科講座講師
2000年 藤田保健衛生大学医学部脳神経外科講座助教授
2006年 藤田保健衛生大学医学部脳神経外科講座教授



齊藤 光江 先生

1984年 千葉大学医学部卒業
1988年 東京大学医学部附属病院分院外科助手
1990年 米国留学(テキサス大学医学部附属 MD アンダーソン癌センター細胞生物学ポスドク)
1995年 癌研究会附属病院乳癌外科医員
2000年 癌研究会研究推進センター診断研究員兼任
2002年 癌研究会新築開発センター教育研修室副室長兼任
2002年 東京大学大学院医学系研究科臓器病態外科学代謝栄養内分分泌科講師
2006年 順天堂大学医学部乳癌内分泌科助教授
2012年 順天堂大学大学院医学研究科乳腺内分泌学助教授

文部科学省科学技術人材育成費補助金女性研究者支援モデル育成事業
順天堂大学 平成24年度シンポジウム
女性外科系医師・研究者からのメッセージ
～次世代女性研究医への期待～

日程 平成24年12月22日(土) 14:00～17:00
会場 順天堂大学 10号館1階 カンファレンスルーム (105号室)

プログラム

第一部

開会 14:00～14:10 幹事 一 医学部附属 女性研究者支援室長
主催 順天堂大学 女性研究者支援室

14:10～14:25 ■女性研究者支援の現状と未来
山村 康子 科学技術システム改革推進プログラムオフィサー

14:25～15:05 ■本学における外科領域の女性研究者支援事業状況(若手研究者からの報告)

第二部

15:15～16:15 ■外科領域女性リーダーとしての取組
加藤 庸子 藤田保健衛生大学 医学部 脳神経外科 教授
加藤 聖子 九州大学大学院 医学研究科 産婦人科 教授
齊藤 光江 順天堂大学大学院 医学研究科 乳腺内分泌学 教授

16:15～16:55 ■パネルディスカッション
幹事 一 医学部附属 女性研究者支援室長
司会 女性研究者支援室長

16:55～17:00 閉会

託児ルーム(0歳～5歳) 当日10号館2階カンファレンスルームに託児所を設けます
託児所利用申込: j-danijo@juntendo.ac.jp

入場無料 一般・教職員・学生の方、男性の方大歓迎です
託児所利用申込: j-danijo@juntendo.ac.jp

主催 順天堂大学 女性研究者支援室
共催 順天堂大学男女共同参画推進室
お問い合わせ: 東京文京区本郷2-1-1 ☎03-5802-1009
e-mail: sankaku@juntendo.ac.jp

相談室について

研究のこと、家庭のこと困ったことがあれば、一人で悩まず何でも相談してください。女性研究者支援室から相談員がお話を伺います。(個人情報取り扱いについては徹底いたします)
連絡先: sankaku@juntendo.ac.jp
担当: 男女共同参画推進室 梅木・佐藤

搾乳室について

男女共同参画推進室では健康管理室の支援を頂き、搾乳室の運用が行えることとなりました。事前登録制となっておりますので、希望者は男女共同参画推進室ホームページから申し込みをお願いいたします。
http://www.juntendo.ac.jp/kyodossupport01.html
担当: 男女共同参画推進室 梅木・佐藤

ベビーシッター育児支援制度のご案内

仕事と子育ての両立を支援する「ベビーシッター育児支援制度」を導入しています。ベビーシッターサービスを利用すると、1日の利用料金(1日につき1700円以上のサービスに限る)から1700円の割引が受けられます。子育て中の教職員の方はどうぞご利用ください。詳細は以下のHPを参照して下さい。
http://www.juntendo.ac.jp/kyodoss/baby_sitter.html
担当: 男女共同参画推進室 梅木・佐藤